

v6 プラス IPv4 設定ソフトウェア ユーザ操作マニュアル

第2版 2017年5月15日

日本ネットワークイネイブラー株式会社

—目次—

1	マニュアルについて	- 1 -
2	改版履歴	- 2 -
3	設定画面へのアクセス方法	- 3 -
4	画面構成	- 4 -
4.1	Top ページ	- 5 -
4.2	ユーザ名/パスワードの登録	- 6 -
4.3	認証ダイアログ	- 7 -
4.4	IPv4 パケットフィルタ	- 8 -
4.5	静的 NAT 設定	- 13 -
4.6	高度な設定	- 18 -
4.7	ユーザ名・パスワードの変更	- 21 -
5	エラーコード	- 22 -
5.1	エラー種別	- 22 -
5.2	ページ番号	- 23 -
5.3	ユーザ操作エラーコード	- 23 -
5.4	API エラーコード	- 27 -

1 マニュアルについて

このマニュアルは NTT 東西のホームゲートウェイ(以下 HGW)で動作する IPv4 設定画面を提供するソフトウェアの利用方法を記したものです。

本マニュアルでは IPv4 インターネット接続に関する設定方法等を記載していますが、通常利用においては設定の必要はありません。パケットフィルタ等を必要とする場合は、本マニュアルに沿って設定してください。

本マニュアル内容を ISP の Web サイト等へ転載、ISP のお客さま（以下エンドユーザ）向けに配布するなどご利用ください。

2 改版履歴

版数	発行年月日	変更内容
第1版	2013年4月18日	初版
第2版	2017年5月15日	固定IPアドレス対応による変更

3 設定画面へのアクセス方法

本ソフトウェアは IPv4 設定を行うソフトウェアであり、通常利用では設定の必要はありません。パケットフィルタ等高度な設定を必要とする場合 HGW 配下（LAN 側）の端末から Web ブラウザ等で接続することにより設定が可能です。

この Web 設定画面へのアクセスは、HGW 配下（LAN 側）から以下の URL にて接続できます。

● 配信事業者ソフトウェア一覧（図 1 配信事業者ソフトウェア一覧画面）

- <http://ntt.setup:8888/t/> 又は <http://192.168.1.1:8888/t/>

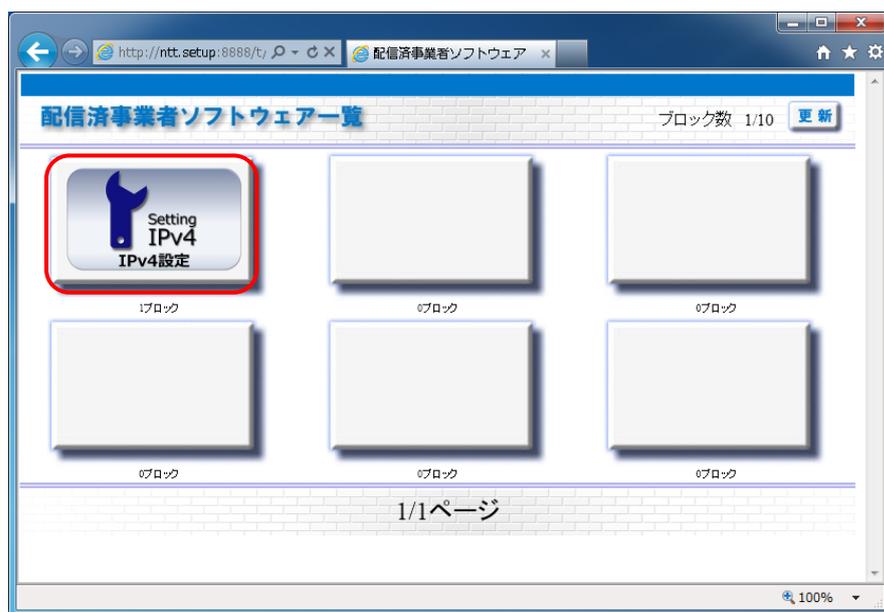


図 1 配信事業者ソフトウェア一覧画面

配信事業者ソフトウェア一覧画面に IPv4 設定画面へ遷移するためのアイコンが表示されます。

画面イメージでは IPv4 設定のアイコンのみが表示されていますが、実際はエンドユーザが ISP と契約している各種配信サービスのアイコンが表示されます。他のサービスも含めてソートされて表示されるため、実際は画面イメージにある位置に表示されるとは限りません。

赤枠の IPv4 設定アイコンをクリックすると Top 画面(フレーム表示)へ遷移します。

4 画面構成

設定画面は以下図 2 画面遷移図の通りの画面で構成されます。（図中のかっこ内の数字は、画面内容を説明している項番号です）

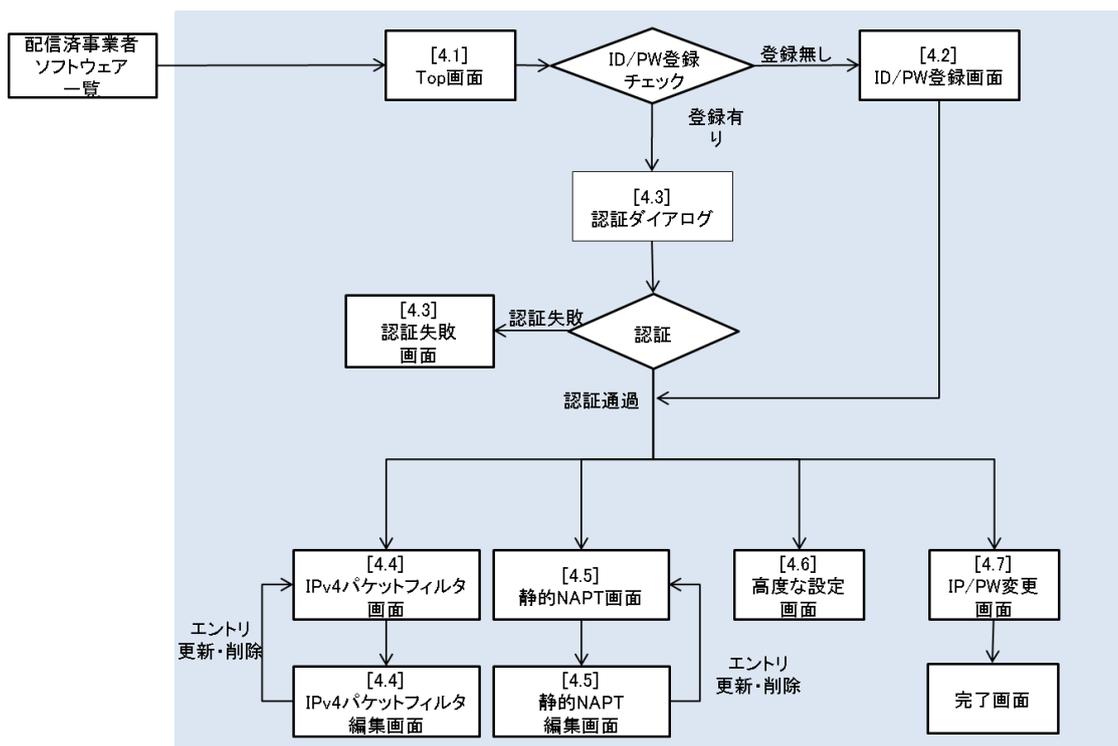


図 2 画面遷移図

4.1 Top ページ

IPv4 設定画面は、左にメニュー、右に表示・設定部分を表示します。（図 3 Top ページ）

Top ページでは、表示部に割り当てられた IPv4 アドレスと利用可能ポートを表示します。また IPv4 通信が有効か無効であるかの表示もされます。

このページでは設定できる項目はありません。



図 3 Top ページ

4.2 ユーザ名/パスワードの登録

初回アクセス時、Top ページ以外へ遷移をするとユーザ名とパスワードの登録が必要となります。(図 4 ユーザ名/パスワードの登録)

- ユーザ名：4 文字以上 15 文字以下のユーザ名設定してください。利用可能文字は、半角英数字と一部の半角記号（「-」ハイフン、「_」アンダーバー）です。
- パスワード：6 文字以上 15 文字以下のパスワードを設定してください。利用可能文字は、半角英数字と一部の半角記号（「#」ハッシュ、「\$」ドル、「-」ハイフン、「=」イコール、「?」クエスチョン、「@」アット、「[」左大括弧、「]」右大括弧、「_」アンダーバー）です。
- パスワード（確認）：パスワード欄と同一のパスワードを設定してください。

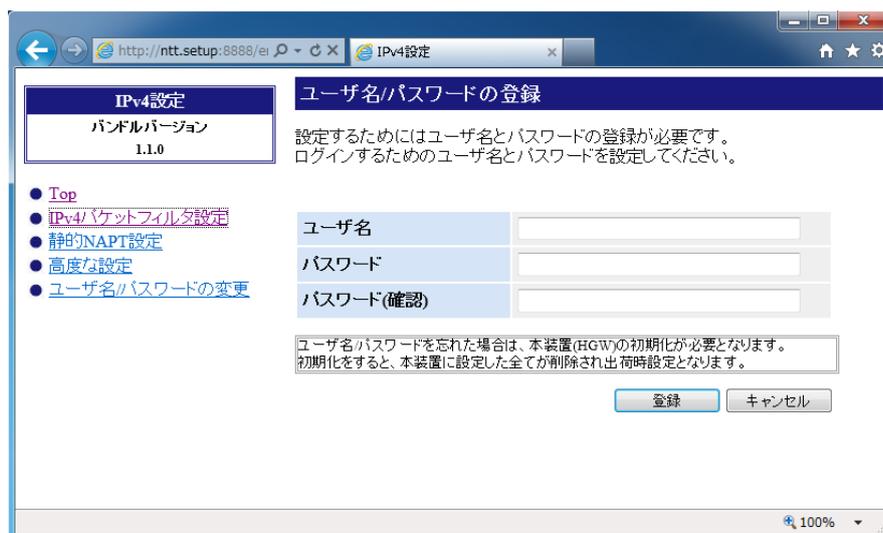


図 4 ユーザ名/パスワードの登録

本画面で登録したユーザ名とパスワードは、Top 画面以外に遷移する場合に認証が必要となります。

設定したユーザ名、パスワードを忘れた場合は、HGW の初期化が必要となり HGW の全ての設定が削除されます。

4.3 認証ダイアログ

図 5 認証画面のダイアログ画面イメージは Internet explorer9 によるものです。このダイアログはブラウザによって表示などが異なります。正しいユーザ名・パスワードを入力して OK ボタンを押下すると、認証に通過してメニューで選択したリンクに応じた画面に遷移できます。

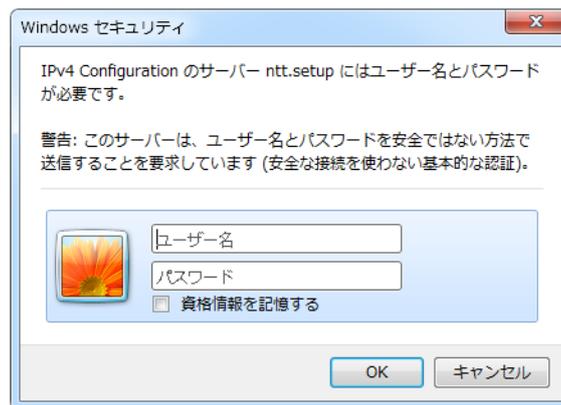


図 5 認証画面

認証に失敗した場合(キャンセル含む)は、図 6 認証エラー画面が表示されます。認証エラーとなった場合は、左側メニュー選択を行うことで再度認証ダイアログが表示されます。

認証に失敗しました。正しいユーザ名/パスワードを入力してください。

ユーザ名/パスワードを忘れた場合は、本装置(HGW)の初期化が必要となります。初期化をすると、本装置に設定した全てが削除され出荷時設定となります。

図 6 認証エラー画面

4.4 IPv4 パケットフィルタ

指定した条件で IPv4 パケットを通過、もしくは遮断する機能です。特定の通信を許可、拒否することができます。（図 7 パケットフィルタ概要）

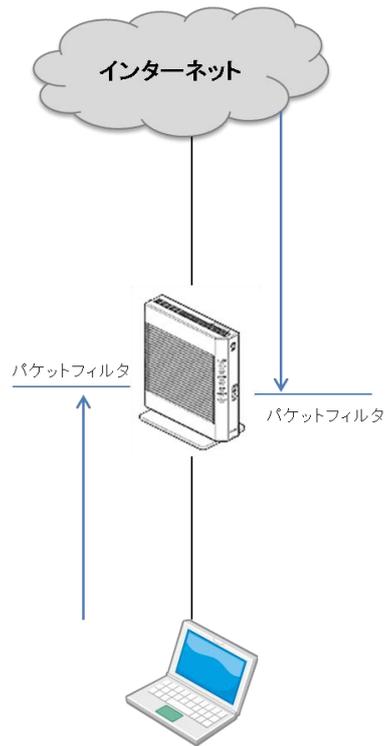


図 7 パケットフィルタ概要

IPv4 パケットフィルタ設定メニューを選択すると下図（図 8 IPv4 パケットフィルタ設定）のエントリー一覧画面が表示されます。IPv4 パケットフィルタは全部で 128 個設定できます。

※初期値として IPv4 パケットフィルタが設定されている場合があります。

IPv4パケットフィルタ設定

No.	種別	送信元	宛先	プロトコル	送信元ポート	宛先ポート	方向
1	拒否	全て	全て	UDP	全て	137	両方向
2	拒否	全て	全て	UDP	全て	138	両方向
3	拒否	全て	全て	TCP	全て	139	両方向
4	拒否	全て	全て	TCP	全て	445	両方向
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							

図 8 IPv4 パケットフィルタ設定

一覧のエントリ番号(No.)を選択するとエントリ編集画面(図 9 IPv4 パケットフィルタエントリ編集)へ推移します。この画面では、IPv4 パケットフィルタのエントリ追加、修正、もしくは削除をすることが可能です。キャンセルを選択することで IPv4 パケットフィルタエントリ一覧画面へ戻ることが可能です。

IPv4パケットフィルタエントリ編集

エントリ番号	5
種別	拒否 ▾
送信元アドレス	xxx.xxx.xxx.xxx
宛先アドレス	xxx.xxx.xxx.0/24
プロトコル	TCP ▾
送信元ポート	any
宛先ポート	1-1024
方向	LAN=>WAN ▾

図 9 IPv4 パケットフィルタエントリ編集

ここで指定できる条件は以下の通りです。

➤ 種別

◇ 拒否、通過を設定することが可能です。

➤ 送信元

◇ 送信元 IPv4 アドレス、IPv4 アドレス範囲を設定することが可能です。（省略不可）

- 全ての IPv4 アドレスを指定する場合「any」
- 特定の IPv4 アドレスを指定する場合「xxx.xxx.xxx.xxx」
- IPv4 アドレス範囲を指定する場合「xxx.xxx.xxx.xxx-xxx.xxx.xxx.xxx」
- IPv4 アドレス範囲をサブネットマスク長で指定する場合「xxx.xxx.xxx.xxx/xx」

※IPv4 アドレスは 0.0.0.1～255.255.255.255 の範囲(半角数字)、サブネットマスク長は 1～32 の範囲(半角数字)

➤ 宛先

◇ 宛先 IPv4 アドレス、IPv4 アドレス範囲を設定することが可能です。（省略不可）

- 全ての IPv4 アドレスを指定する場合「any」
- 特定の IPv4 アドレスを指定する場合「xxx.xxx.xxx.xxx」
- IPv4 アドレス範囲を指定する場合「xxx.xxx.xxx.xxx-xxx.xxx.xxx.xxx」
- IPv4 アドレス範囲をサブネットマスク長で指定する場合「xxx.xxx.xxx.xxx/xx」

※IPv4 アドレスは 0.0.0.1～255.255.255.255 の範囲(半角数字)、サブネットマスク長は 1～32 の範囲(半角数字)

➤ プロトコル

◇ TCP、UDP、ICMP もしくは全てを設定することが可能です。

➤ 送信元ポート

◇ プロトコルが TCP もしくは UDP の場合、送信元ポート番号を設定することが可能です。（省略不可）

- 全てのポート番号を指定する場合「any」
- 特定のポート番号を指定する場合「nnnnn」
- ポート番号範囲を指定する場合「n-nnnnn」

※ポート番号は 1～65535 の範囲(半角数字)

➤ 宛先ポート

◇ プロトコルが TCP もしくは UDP の場合、宛先ポート番号を設定することが可能です。(省略不可)

- 全てのポート番号を指定する場合「any」
- 特定のポート番号を指定する場合「nnnnn」
- ポート番号範囲を指定する場合「n-nnnnn」

※ポート番号は 1～65535 の範囲(半角数字)

➤ 方向

◇ PC 等宅内環境からインターネットへの IPv4 パケットを制御する LAN→WAN、インターネットから PC 等宅内環境への IPv4 パケットを制御する WAN→LAN、LAN→WAN と WAN→LAN の両方向の 3 種類を設定することが可能です。

LAN→WAN 方向の許可フィルタを設定した場合は、SPI¹が WAN→LAN 拒否フィルタより優先されます。(図 10 LAN→WAN フィルタ時の SPI 動作)

¹ SPI (Stateful Packet Inspection) : パケットヘッダを参照し、動的に戻りパケットのフィルタを開放する機能

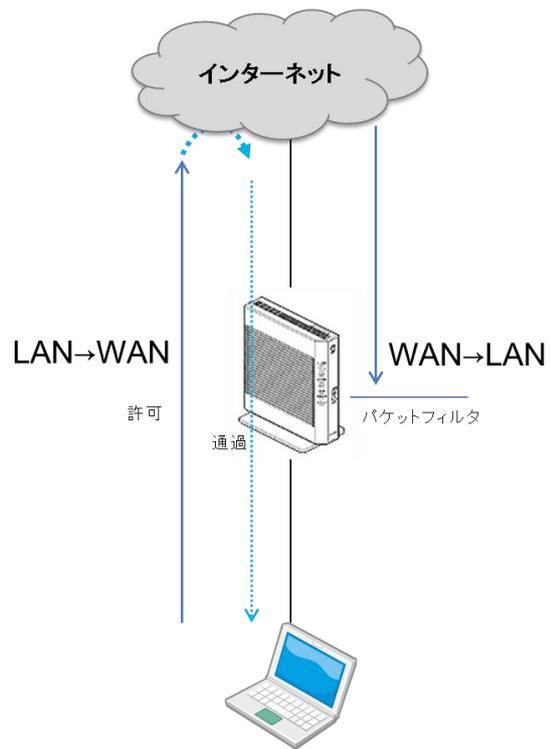


図 10 LAN→WAN フィルタ時の SPI 動作

WAN→LAN 方向の許可フィルタを設定する場合は、4.5 静的 NAPT 設定が必要です。(図 11 WAN→LAN 許可時の静的 NAPT)

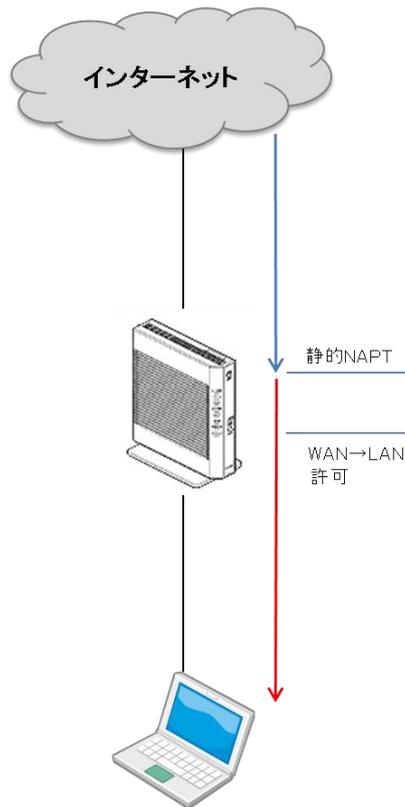


図 11 WAN→LAN 許可時の静的 NAPT

エントリを削除する場合は、削除を選択することで下図（図 12 エントリ削除ダイアログ）の再確認メッセージがポップアップされ、OK を選択することでそのエントリは削除されます。

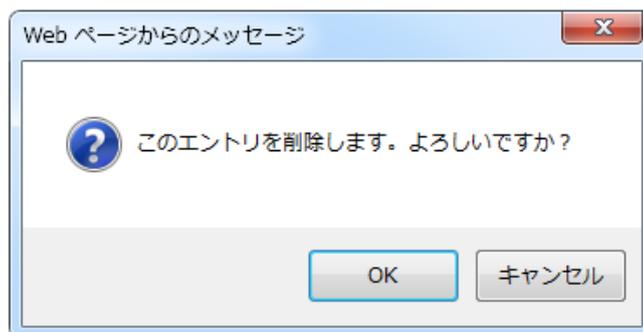


図 12 エントリ削除ダイアログ

4.5 静的 NAPT 設定

静的 NAPT は、外部に公開するグローバルアドレス、ポート番号と内部のプライベートアドレス、ポート番号を結び付ける機能です。これにより特定の公開対象ポートでサーバ等を公開することができます。（図 13 静的 NAPT 概要）

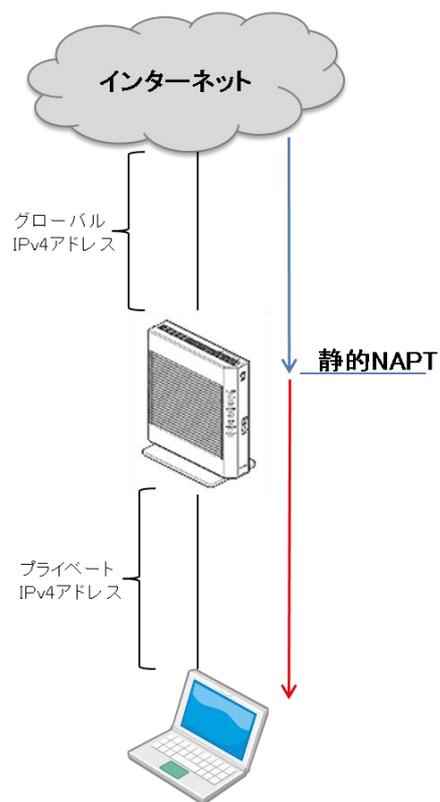


図 13 静的 NAPT 概要

静的 NAPT 設定メニューを選択すると下図（図 14 静的 NAPT 設定）のエントリー一覧画面が表示されます。
静的 NAPT は全部で 64 個設定できます。

※初期値として静的 NAPT が設定されている場合があります。

静的NAPT設定

No.	対象プロトコル	公開対象ポート	宛先アドレス	宛先ポート
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				

図 14 静的 NAPT 設定

一覧のエントリ番号(No.)を選択するとエントリ編集画面(図 15 静的 NAPT エントリ編集)へ推移します。この画面では、静的 NAPT のエントリ追加、修正、もしくは削除をすることが可能です。キャンセルを選択することで静的 NAPT エントリ一覧画面へ戻ることが可能です。

静的NAPT設定 エントリ編集

エントリ番号	1
対象プロトコル	TCP ▼
公開対象ポート	8080
宛先アドレス	192.168.1.100
宛先ポート	80

図 15 静的 NAPT エントリ編集

ここで指定できる条件は以下の通りです。

- 対象プロトコル
 - ◇ TCP もしくは UDP を設定します。

- 公開対象ポート
 - ◇ 外部に公開するポートを設定します。（省略不可）
※ポート番号は 1～65535 の範囲(半角数字)

- 宛先アドレス
 - ◇ LAN 内にあるプライベート IPv4 アドレスを設定します。（省略不可）
※IPv4 アドレスは 0.0.0.1～255.255.255.255 の範囲(半角数字)

- 宛先ポート
 - ◇ LAN 内にある宛先アドレスで待ち受けするポートを設定します。（省略不可）
※ポート番号は 1～65535 の範囲(半角数字)

外部公開ポートに設定した値が利用可能ポート範囲内でない場合、下図（図 16 ポートレンジ外設定ダイアログ）の警告メッセージがポップアップされ、OK を選択すると設定が可能です。ただしこの場合、静的 NAT 機能は有効にはなりません。

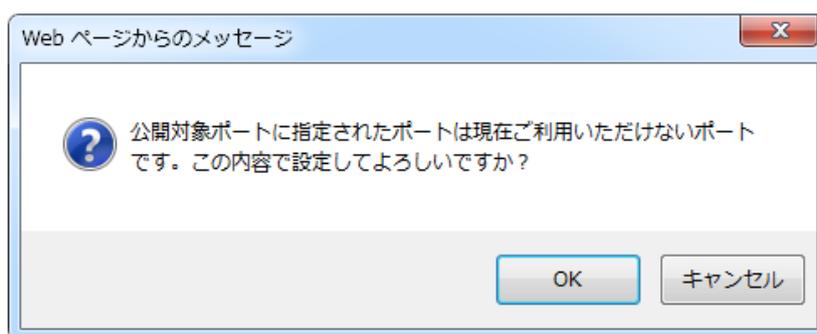


図 16 ポートレンジ外設定ダイアログ

エントリを削除する場合は、削除を選択することで下図（図 17 エントリ削除ダイアログ）の再確認メッセージがポップアップされ、OK を選択することでそのエントリは削除されます。

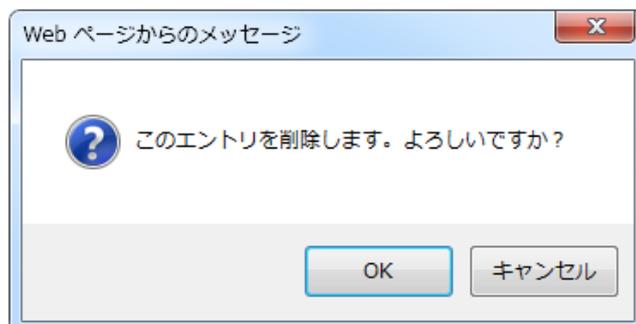


図 17 エントリ削除ダイアログ

4.6 高度な設定

高度な設定はその他詳細設定が可能な機能です。

高度な設定メニューを選択すると下図（図 18 高度な設定）の設定画面が表示されます。

高度な設定	
【タイムアウト設定】	
TCP[Established] [初期値:300]	300 秒
TCP[FIN/RST](time_wait) [初期値:1]	1 秒
UDP [初期値:30]	30 秒
ICMP [初期値:5]	5 秒
その他プロトコル [初期値:300]	300 秒
【UPnP-IGD設定】	
UPnP-IGD設定	<input type="checkbox"/> 使用する
【Ping応答設定】	
Ping応答設定	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
【IPv4 ON/OFF設定】	
IPv4の一時停止	<input type="checkbox"/> 機能停止
<input type="button" value="設定"/>	
【固定アドレス設定】	
IPv4アドレス	<input type="text"/>
<input type="button" value="設定"/>	

図 18 高度な設定

ここで指定できる項目は以下の通りです。

- タイムアウト設定

それぞれの対象プロトコル・動作において無通信だった場合、設定秒経過するとタイムアウトとなり、当該 NAPT セッション、SPI エントリが削除されます。

- TCP [Established]
 - ◇ 確立済みの TCP セッション
 - ※初期値：300 秒、設定可能範囲：180-7200 秒

- TCP [FIN/RST]
 - ◇ TCP FIN/RST 後の TCP セッション
 - ※初期値：1 秒、設定可能範囲：1-300 秒

- UDP
 - ◇ UDP 通信
 - ※初期値：30 秒、設定可能範囲：30-7200 秒

- ICMP
 - ◇ ICMP 通信
 - ※初期値：5 秒、設定可能範囲：1-7200 秒

- その他のプロトコル
 - ◇ その他の通信
 - ※初期値：300 秒、設定可能範囲：1-7200 秒

●UPnP-IGD 設定

UPnP(Universal Plug and Play)の IGD (Internet Gateway Device) はゲーム等でプロトコル・ポートマッピングを行う技術です。使用する場合はチェックボックスを選択します。

初期値は使用しない設定 (チェックされていない) です。

●Ping 応答設定

インターネットからの Ping コマンドなどによる ICMP Echo に Echo-Reply を返答する場合はチェックボックスを選択します。

初期値は使用する設定 (チェックされている) です。

●IPv4 ON/OFF 設定

IPv4 インターネット接続を一時的に停止する場合はチェックボックスを選択します。

初期値は機能停止しない設定（チェックされていない）です。

●固定アドレス設定

固定アドレスでの IPv4 インターネット接続を設定する場合に使用します。事業者からの通知されるグローバル IPv4 アドレスを設定します。

※IPv4 アドレスは 0.0.0.1～255.255.255.255 の範囲(半角数字)

4.7 ユーザ名・パスワードの変更

設定画面に入る際の認証に使用するユーザ名とパスワードを変更することができます。

ユーザ名/パスワードの変更メニューを選択すると下図（図 19 ユーザ名/パスワードの変更）の設定画面が表示されます。

ユーザ名/パスワードの変更

以下の情報を入力・編集し、更新ボタンを押してください

現在のユーザ名	<input type="text"/>
現在のパスワード	<input type="password"/>
新しいユーザ名	<input type="text"/>
新しいパスワード	<input type="password"/>
新しいパスワード(確認)	<input type="password"/>

ユーザ名/パスワードを忘れた場合は、本装置(HGW)の初期化が必要となります。
初期化をすると、本装置に設定した全てが削除され出荷時設定となります。

図 19 ユーザ名/パスワードの変更

ユーザ名/パスワードを変更する場合は以下を入力する必要があります。

- 現在のユーザ名：登録時（4.2 ユーザ名/パスワードの登録）で設定したユーザ名を入力してください
- 現在のパスワード：登録時（4.2 ユーザ名/パスワードの登録）で設定したユーザ名を入力してください
- 新しいユーザ名：4文字以上 15文字以下のユーザ名設定してください。利用可能文字は、半角英数字と一部の半角記号（「-」ハイフン、「_」アンダーバー）です。
- 新しいパスワード：6文字以上 15文字以下のパスワードを設定してください。利用可能文字は、半角英数字と一部の半角記号（「#」ハッシュ、「\$」ドル、「-」ハイフン、「=」イコール、「?」クエスチョン、「@」アット、「[」左大括弧、「]」右大括弧、「_」アンダーバー）です。
- 新しいパスワード（確認）：新しいパスワード欄と同一のパスワードを設定してください。

5 エラーコード

エラーコードのフォーマットは以下の通り接頭文字「E」から始まり数字4桁で構成します。

E	0	1	0	1
接頭文字	エラー種別	ページ番号	通し番号	

5.1 エラー種別

0. ユーザ操作エラー

この種別のエラーはユーザ操作による設定間違い、様式エラー等操作ミスによるエラーの場合に表示されます。（図 20 ユーザ操作エラー表示例）

ユーザ名/パスワードの変更

以下の情報を入力・編集し、更新ボタンを押してください

パスワードには6文字以上15文字以下を入力してください。(E0309)

現在のユーザ名	<input type="text" value="user"/>
現在のパスワード	<input type="password"/>

図 20 ユーザ操作エラー表示例

1. API エラー

この種別のエラーAPI による何らかのエラーの場合に表示されます。（図 21 API エラー表示例）

静的NAPT設定 エントリ編集

エントリの設定でエラーが発生しました。(E1702)[error : 131074]

エントリ番号	1
対象プロトコル	TCP ▼

図 21 API エラー表示例

5.2 ページ番号

ページ番号部分には以下のページに紐づく 1 桁の数字が入ります。

1. ユーザ名/パスワードの登録
2. Top ページ
3. ユーザ名/パスワードの変更
4. IPv4 パケットフィルタ設定
5. IPv4 パケットフィルタエントリ編集
6. 静的 NAPT 設定
7. 制定 NAPT エントリ編集
8. 高度な設定

5.3 ユーザ操作エラーコード

ユーザ操作エラーは以下の表 1 ユーザ操作エラーコード一覧の通りです。

表 1 ユーザ操作エラーコード一覧

コード	概要	画面表示内容
E0101	ユーザ名の入力欄が空	ユーザ名を入力してください。
E0102	ユーザ名に不正な文字が含まれている	ユーザ名に使用可能な文字は半角英数字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)です。
E0103	ユーザ名の文字数が範囲外	ユーザ名は 4 文字以上 15 文字以下を入力してください。
E0104	パスワードの入力欄が空	パスワードを入力してください。
E0105	パスワードに不正な文字が含まれている	パスワードに使用可能な文字は半角英数字と記号# \$ - = ? @ [] _ です。
E0106	パスワードの文字数が範囲外	パスワードには 6 文字以上 15 文字以下を入力してください。
E0107	パスワード(確認)の入力欄が空	パスワード(確認)を入力してください。

E0108	パスワードとパスワード(確認)の内容が不一致	パスワードとパスワード(確認)の内容が一致しません。
E0301	現ユーザ名/パスワードの認証に失敗	現在のパスワード認証に失敗しました。
E0302	現ユーザ名の入力欄が空	現在のユーザ名を入力してください。
E0303	現パスワードの入力欄が空	現在のパスワードを入力してください。
E0304	新ユーザ名の入力欄が空	新しいユーザ名を入力してください。
E0305	新ユーザ名に不正な文字が含まれている	ユーザ名に使用可能な文字は半角英数字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)です。
E0306	新ユーザ名の文字数が範囲外	ユーザ名は 4 文字以上 15 文字以下を入力してください。
E0307	新パスワードの入力欄が空	新しいパスワードを入力してください。
E0308	新パスワードに不正な文字が含まれている	パスワードに使用可能な文字は半角英数字と記号# \$ - = ? @ [] _ です。
E0309	新パスワードの文字数が範囲外	パスワードには 6 文字以上 15 文字以下を入力してください。
E0310	新パスワードと新パスワード(確認)の内容が不一致	新しいパスワードとパスワード(確認)の内容が一致しません。
E0501	送信元の入力欄が空	送信元を入力してください。
E0502	宛先の入力欄が空	宛先を入力してください。
E0503	送信元・宛先に不正な文字が含まれている	[送信元/宛先] に使用可能な文字は半角数字と.(ドット)、-(ハイフン)、/(スラッシュ)です。
E0504	送信元・宛先の範囲指定不正	[送信元/宛先] のフォーマットが不正です。アドレスを範囲指定する場合は[下限アドレス]-[上限アドレス]というフォーマットで入力してください。
E0505	送信元・宛先のマスク長指定不正	[送信元/宛先] のフォーマットが不正です。マスク長指定する場合は xxx.xxx.xxx.xxx/xx というフォーマットで入力してください。 /の後ろには 1~32 までの数字を入力してください。
E0506	送信元・宛先のアドレス不正 (アドレスのフォーマット不正)	[送信元/宛先] のフォーマットが不正です。アドレスは xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力してください。
E0507	送信元・宛先のアドレス不正 (範囲外指定)	[送信元/宛先] には 0.0.0.1~255.255.255.255 の範囲内のアドレスを入力してください。

E0508	送信元ポートの入力欄が空	送信元ポートを入力してください。
E0509	宛先ポートの入力欄が空	宛先ポートを入力してください。
E0510	送信元ポート・宛先ポートに不正な文字が含まれている	[送信元ポート/宛先ポート]に使用可能な文字は半角数字と-(ハイフン)のみです。
E0511	送信元ポート・宛先ポートの範囲指定不正	[送信元ポート/宛先ポート]のフォーマットが不正です。ポートを範囲指定する場合は[下限ポート]-[上限ポート]というフォーマットで入力してください。
E0512	送信元ポート・宛先ポートの入力内容が範囲外	[送信元ポート/宛先ポート]には 1~65535 の範囲内のポート番号を入力してください。
E0701	変換対象ポートの入力が空	変換対象ポートを入力してください。
E0702	変換対象ポートに不正な文字が含まれている	変換対象ポートに使用可能な文字は半角数字のみです。
E0703	変換対象ポートの入力内容が範囲外	変換対象ポートには 1~65535 の範囲内のポート番号を入力してください。
E0704	宛先アドレスの入力が空	宛先アドレスを入力してください。
E0705	宛先アドレスに不正な文字が含まれている	宛先アドレスに使用可能な文字は半角数字と.(ドット)のみです。
E0706	宛先アドレスのフォーマットが不正	宛先アドレスのフォーマットが不正です。アドレスは xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力してください。
E0707	宛先アドレスの入力内容が範囲外	宛先アドレスには 0.0.0.1~255.255.255.255 の範囲内のアドレスを入力してください。 ただし、127.0.0.0~127.255.255.255 の範囲内のアドレスは指定できません。
E0708	宛先ポートの入力が空	宛先ポートを入力してください。
E0709	宛先ポートに不正な文字が含まれている	宛先ポートに使用可能な文字は半角数字のみです。
E0710	宛先ポートの入力内容が範囲外	宛先ポートには 1~65535 の範囲内のポート番号を入力してください。
E0801	TCP[Established]タイムアウトの入力欄が空	TCP[Established]タイムアウトを入力してください。
E0802	TCP[Established]タイムアウトに不正な文字が含まれている	TCP[Established]タイムアウトに使用可能な文字は半角数字のみです。
E0803	TCP[Established]タイムアウトの入力内容が範囲外	TCP[Established]タイムアウトには 0~7200 の範囲内の値を入力してください。
E0804	TCP[FIN/RST]タイムアウトの入力欄が空	TCP[FIN/RST]タイムアウトを入力してください。

E0805	TCP[FIN/RST]タイムアウトに不正な文字が含まれている	TCP[FIN/RST]タイムアウトに使用可能な文字は半角数字のみです。
E0806	TCP[FIN/RST]タイムアウトの入力内容が範囲外	TCP[FIN/RST]タイムアウトには0～7200の範囲内の値を入力してください。
E0807	UDP タイムアウトの入力欄が空	UDP タイムアウトを入力してください。
E0808	UDP タイムアウトに不正な文字が含まれている	UDP タイムアウトに使用可能な文字は半角数字のみです。
E0809	UDP タイムアウトの入力内容が範囲外	UDP タイムアウトには0～7200の範囲内の値を入力してください。
E0810	ICMP タイムアウトの入力欄が空	ICMP タイムアウトを入力してください。
E0811	ICMP タイムアウトに不正な文字が含まれている	ICMP タイムアウトに使用可能な文字は半角数字のみです。
E0812	ICMP タイムアウトの入力内容が範囲外	ICMP タイムアウトには0～7200の範囲内の値を入力してください。
E0813	その他プロトコルのタイムアウトの入力欄が空	その他プロトコルのタイムアウトを入力してください。
E0814	その他プロトコルのタイムアウトに不正な文字が含まれている	その他プロトコルのタイムアウトに使用可能な文字は半角数字のみです。
E0815	その他プロトコルのタイムアウトの入力内容が範囲外	その他プロトコルのタイムアウトには0～7200の範囲内の値を入力してください。
E0816	IPv4 アドレスに不正な文字が含まれている	IPv4 アドレスに使用可能な文字は半角数字と.(ドット)、です。
E0817	IPv4 アドレスのアドレス不正 (アドレスのフォーマット不正)	IPv4 アドレスのフォーマットが不正です。アドレスはxxx.xxx.xxx.xxxの形式で入力してください。
E0818	IPv4 アドレスのアドレス不正 (範囲外指定)	IPv4 アドレスには0.0.0.1～255.255.255.255の範囲内のアドレスを入力してください。

5.4 API エラーコード

このエラーが発生した場合は、何らかの問題が発生しています。機器を再起動しそれでも発生する場合は E から始まる API エラーコード、エラー詳細とともにサポート窓口までお問合せください。

エラー詳細は画面に表示されるエラー内容の後ろに表示されます。[error : *]の * 部分です。

表 2 API エラーコード一覧

コード	概要	画面表示内容
E1101	ユーザ名/パスワードの設定に失敗	ユーザ名/パスワードの設定でエラーが発生しました。[error : *]
E1201	グローバル IPv4 アドレスの取得に失敗	IPv4 アドレスの取得でエラーが発生しました。[error : *]
E1202	ポートレンジの取得に失敗	利用可能ポートの取得でエラーが発生しました。[error : *]
E1203	サービス取得に失敗	IPv4 有効化に失敗しました。[error : *]
E1301	新ユーザ名/パスワードの設定に失敗	ユーザ名/パスワードの設定でエラーが発生しました。[error : *]
E1401	IPv4 パケットフィルタのエントリ取得に失敗	IPv4 パケットフィルタエントリの取得でエラーが発生しました。[error : *]
E1501	現在の設定内容の取得に失敗	エントリの取得でエラーが発生しました。[error : *]
E1502	エントリの設定に失敗	エントリの設定でエラーが発生しました。[error : *]
E1503	エントリの削除に失敗	エントリの削除でエラーが発生しました。[error : *]
E1601	静的 NAPT のエントリ取得に失敗	静的 NAPT エントリの取得でエラーが発生しました。[error : *]
E1701	現在の設定内容の取得に失敗	エントリの取得でエラーが発生しました。[error : *]
E1702	エントリの設定に失敗	エントリの設定でエラーが発生しました。[error : *]
E1703	エントリの削除に失敗	エントリの削除でエラーが発生しました。[error : *]
E1801	タイムアウト設定の現在の設定内容の取得に失敗	タイムアウト設定の取得でエラーが発生しました。[error : *]
E1802	UPnP 設定の現在の設定内容の取得に失敗	UPnP 設定の取得でエラーが発生しました。[error : *]
E1803	Ping 応答設定の現在の設定内容の取得に失敗	Ping 応答設定の取得でエラーが発生しました。[error : *]
E1804	IPv4 設定の現在の設定内容の取得に失敗	IPv4 ON/OFF 設定の取得でエラーが発生しました。[error : *]
E1805	タイムアウト設定の設定エラー	タイムアウト設定でエラーが発生しました。[error : *]
E1806	UPnP 設定エラー	UPnP 設定でエラーが発生しました。[error : *]
E1807	Ping 応答設定エラー	Ping 応答設定でエラーが発生しました。[error : *]
E1808	IPv4 一時停止設定エラー	IPv4 の一時停止でエラーが発生しました。[error : *]
E1809	固定アドレス設定エラー	固定アドレス設定でエラーが発生しました。[error : *]